

## 第657回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1. 復興支援道路 相馬福島道路「桑折高架橋(仮称)」建設工事 …………… 桑折町松原地先

復興支援道路は、東日本対震災復興構想会議の提案を受け、整備を進める路線であり、その内、相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの高規格道路です。

相馬福島道路の霊山～福島間は、令和2年度(一部区間を除く)の開通に向けて工事を進めています。

当該道路における「桑折高架橋(仮称)」(橋長1,218m)は、相馬福島道路で計画されている最長の橋梁で、JR東北新幹線と東北本線を跨いで架かる高架橋となっています。



### 2. 松川浦漁港海岸災害復旧事業 [H29年度全建賞] …………… 相馬市尾浜大洲地先

東日本大震災の地震及び津波により被災した海岸堤防と兼用工作物となる市道を県の代行工事として合わせて復旧した事業です。代行工事としたことで市道復旧が円滑に進んだ点、探査船調査で障害物の位置データを把握し障害物が確実に撤去された点、松川浦漁港からの浚渫土を築堤盛土材料として利用し費用縮減が図られた点、プレキャスト製品を使用し生コン供給量不足や職人確保の問題を乗り越え工期が短縮された点、海苔の養殖やアサリ漁が行われる松川浦を保全し地域産業の場が保全された点、観光面に貢献している点が評価された事業です。



### 3. 大浜地区海岸公共災害復旧事業 [H30年度全建賞] …………… 相馬市尾浜大浜地区

東日本大震災の大津波により壊滅した景勝地松川浦前面の海岸堤防についての災害復旧事業。海岸堤防のすぐ背後を併走する市道の復旧を海岸堤防と一体構造として設計・施工する必要があったことから、東日本大震災災害復旧事業代行法に基づき、県が市事業を代行した初めてのケースであり、震災直後の資材やマンパワーが不足する中、県内最大規模の災害復旧事業を完成させた点が評価された事業です。



### 4. 福島ロボットテストフィールド …………… 南相馬市原町区萱浜

福島イノベーション・コースト構想に基づき整備する「福島ロボットテストフィールド」は、物流、インフラ点検、大規模災害などに活用が期待される無人航空機、災害対応ロボット、自動運転ロボット、水中探査ロボットといった陸・海・空のフィールドロボットを主対象に、実際の使用環境を拠点内で再現しながら研究開発、実証試験、性能評価、操縦訓練を行うことができる、世界に類を見ない一大研究開発拠点です。

本拠点は、南相馬市・復興工業団地内に「無人航空機エリア」、「インフラ点検・災害対応エリア」

、「水中・水上ロボットエリア」、「開発基盤エリア」を設けるとともに、浪江町・棚塩産業団地内に長距離飛行試験のための滑走路を整備する計画であり、2019年度末全面開所を予定しています。

